



# 関中央ロータリークラブ

## 2016-2017 WEEKLY REPORT



**例会日** 毎週木曜日 18時30分

**例会場** 関観光ホテル（関市池尻91-2）

**事務局** 関市西本郷通5-2-53 TEL0575-24-7332・FAX0575-23-5278

**会長**:石原 妙生 **副会長**:川村 紳一 **幹事**:波多野 篤志 **クラブ会報委員長**:吉田 和也

2016~2017年  
国際ロータリー会長  
ジョン F. ジャーム

ロータリーで何か発見を！

2016~2017年度 関中央RC会長テーマ

四つのテスト  
・真実かどうか  
・みんなに公平か  
・好意と友好を深めるか  
・みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第1889回例会 2017年2月17日（金）

創立40周年記念式典 / 担当 会長・幹事

### 前例会の記録

第1888回 2017年2月9日（木）

関市役所 関市文化財保護センター 森島 一貴様  
テーマ「関市の文化財」

／担当 ロータリー情報委員会

\*ロータリーソング「我らの生業」斉唱

\*お客様紹介

関市役所 関市文化財保護センター 森島一貴様

\*会長あいさつ 石原妙生会長

先日、1月の終わりの夜のことで、友人の車に乗せてもらっていて、何気に西の空を見ていると、三日月の横に大きくて、すごく光るきれいなものが見えたので、何かと聞いてみると友人があれは金星だと教えてくれました。



「宵の明星」というそうで、日没後に西の空で見ることのできる金星のことです。金星は太陽系で太陽に近い方から2番目の惑星で、地球に最も近い公転軌道（天体が他の天体の周りを回る軌道）を持つ惑星です。

金星は大きさも質量も地球によく似た惑星で、自転周期が243日と非常に長く、しかも公転の方向と逆回

転に自転している不思議な特徴があります。又、地表付近の大気圧が「90気圧」（地球の水深900mに相当）にも達し、地表の温度は温室効果で「470℃」にもなると言われており、ローマ神話の美の女神「ヴィーナス」の名を冠した惑星とは思えないほど過酷な環境だそうです。皆さんもそんな目で一度見て下さい。きれいですよ！

さて、いよいよ来週の17日は、40周年記念式典です。古田部会長と川上委員長を中心に役員会の皆さんで準備をしてまいりました。当日出席頂ける会員の方は、どうか式典が成功する様ご協力をお願いします。尚、台湾からも南隆ロータリークラブの皆さんがお見えになります。我クラブは、日本流でかつ関中央流の「おもてなし」をしなくてはと思っています。

予定として前日の16日においでになり、19日に帰られる行程で、先方からの要望でもある、16日の中部空港への迎えと、19日の送りはしなくてはなりません。その他18日も観光があれば案内も出てきます。連日の行程になるので、出来るだけ役割を分担して行いたいと考えております。式典以外にも参加する事は大変だと思っておりますが、10年に一度の周年事業ということで、

御理解の上、御協力をお願いします。

**\*卓話 関市役所**

関市文化財保護センター

森島 一貴 様

**テーマ 「関市の文化財」**



関市にある国の指定文化財、まずはみなさんよくご存じの新長谷寺、吉田観音の名前で親しまれております。8棟の重要文化財があります。

日竜峯寺は鎌倉時代中期のものです。先日初めて多宝塔内部の公開がありました。壁画が書かれており、失われている部分もありますが、仏像が10体描かれております。今後、赤外線写真を撮ったり、高性能のカメラで撮影するなど予定しております。

紋紗という着物もあります。紋紗織りという非常に薄い着物です。関市では土屋順紀さんという人間国宝の方が織っておられます。オオサンショウウオやニホンカモシカも記念物というジャンルに入ります。

春日神社の歴史を振り返りたいと思います。鎌倉時代に、奈良の春日大社から刀工が自分たちの守護神として祭ったのが始まりと言われております。鎌倉時代には社殿が建てられ、今の原形が作られたのではないかとされています。文献では毎年2月28日にお祭りとして能をされていたことが書いてあります。能は室町時代の終わりに確立されてきますが、それまでは猿楽と呼ばれていました。能と狂言、両方ともされていたことが文献には残っています。県の指定文化財の「どうじゃこう」が今は4月第3日曜日に能舞台で行われています。

国の重要文化財の能面は53面あります。また、付けたりで8面あります。これだけまとまって指定されているのは、神社で奉納されているものとしては日本で一番数が多いと思います。

能面というのは裏に誰が使っていたのか、いつ頃どういう形で奉納されたのかという事が書かれています。室町時代の中頃からレプリカを作られていたことが分かってきました。能装束類は昭和31年に指定されました。非常に価値の高い能面と能装束がセットになって残っているのも非常に珍しいことです。

日本遺産の話をしたいと思います。今まで個別の文化財の話をしていましたが、日本遺産とは地域の文化

財を総合的に活用する目的で生まれたものです。例えば春日神社の能面・能装束、春日神社というのを点でとらえるのではなく、ストーリーとして情報発信をするものです。

『関の孫六』や『備前長船』といった世界的にも有名な日本刀の産地として、今もその伝統を受け継ぐ岡山県瀬戸内市と関市の合同で文化庁が認定する「日本遺産」に申請しました。

タイトルは『日本刀が息づく街 ～関・瀬戸内～』です。両市には、日本刀の流通によってもたらされた文化や、古式日本刀鍛錬だけではなく、研師(とぎし)、鞘師(さやし)、白銀師(しろがねし)、柄巻師(つかまきし)などの諸工芸の技が現在も受け継がれています。まさに「日本刀」を構成する全ての伝統的諸技術を体感できる街として、その魅力をアピールしていきます。

日本遺産の認定結果は4月下旬にも文化庁から発表される予定です。認定された場合は、情報発信や関連事業に対する国の補助を受けやすくなります。関市の日本刀文化をもっと広めていけたらと思っています。

**\*出席委員会**

会員数31名、本日の出席20名です。

**\*ニコボックス委員会**

・会長・副会長・幹事

関市文化財保護センター 森島様「関市の文化財」についての卓話よろしくをお願いします。

・伊佐地金嗣君

関市文化財保護センターの森島一貴様ようこそご来席下さいました。又、本日の卓話快く引き受けて頂きましてありがとうございます。よろしく申し上げます。

20名のご投函ありがとうございました。

**\*メイクアップ報告**

2/3 インフォメーション 山田文夫君、石原妙生君、川上勉君、西田健一君、波多野好文君

2/5 職業奉仕研修セミナー 伊佐地金嗣君、古田育則君

**<次例会の案内>**

第1890回 2017年2月23日(木)

会員卓話 加納淳至会員、伊佐地司会員

テーマ 「自己紹介+α」

担当：雑誌・広報委員会